



学習：「いろいろなものに触ってみよう！」

今回は、自立活動を頑張っているAさんについて紹介します。いろいろな物に触って、楽しく遊ぶことを目指した学習を行いました。

① 	かたさが一定でひんやりしたものが触りやすいので、空き缶に触ることから始めました。	② 	空き缶に慣れてきたので、ちょっと刺激の強いスポンジに挑戦！ゴシゴシこすったりしながら触ってみました。
④ 	ザラザラした物やネチョネチョした物など、いろいろな感触を楽しむことができるようになりました。	③ 	毎週1時間の授業を重ねることで、先生の働き掛けを受け入れ、一緒に触ることのできる物が増えてきました。

Aさんの自立活動の目標は、「物に楽しく触れながら教師と一緒に楽しく遊び、様々な感触の物に触れることができるようになる」です。



この学習は、感覚の一つである「触覚」を育てることをねらいとした学習です。

「触覚」は触った物の形や素材を認識したり、危険なものを瞬時に判断したりする時に使われる感覚です。

この力が育つと、様々な感触の物に興味をもつことができるようになり、「触って確かめよう！」「操作してみよう！」という思いが高まります。また、帽子をかぶったり、マスクをつけたり、靴下をはいたりすることもできやすくなります。さらに、コミュニケーションにおいても、自分から人と関わって遊ぼうとしたり、人との適切な距離感に気付いたりすることができるようになってきます。

「触覚」を育てるためには、様々な感触の物に触れる経験をていねいに積み重ねることが大切です。



Aさんは、他の学習でも自分から触れて楽しむ姿が見られています。「いろんな物に触ってみるのって楽しいな！」「もっと触ってみたいな！」という思いを膨らますことができるように取り組んでいけたらと思っています。

図工の時間に粘土で作品を作ったよ☆

